



第73回  
日本小児保健協会  
学術集会

会期 2026年6月19日(金)~21日(日)  
会場 大阪市中央公会堂  
〒530-0005 大阪市中央公会堂 17日(金) 21号



## 第73回 日本小児保健協会学術集会 シンポジウム

# ヒューマンエラーからヒューマンセンタードへ Bio-Psycho-Socialモデルによる傷害予防の統合アプローチ

**日時** 2026年6月21日(日) 10:00~11:40

**会場** 大阪市中央公会堂 3F 小集会室 (第3会場)

### 趣旨

子どもの不慮の事故を予防するために、これまで数多くの対策が行われてきた結果、この20年で死亡事故は70%以上も減ってきており、成果を挙げてきました。しかし、いまなお死亡原因の第2位であり、また、死亡に至らない傷害は現在も多発しており、大きな社会問題です。その一因は、生活実態に合わない画一的な対策や、保護者などのケアラーだけに負担が集中している社会環境にあると考えられます。今回のシンポジウムでは、現代のケアラーのリアルな生活者像を理解し、傷害予防を押し付けるのではなく、社会で支え合う環境づくりについて議論する場を企画しました。情報発信をされているメディア、新たな人材育成プログラムを作成しているNPO、新たな表示制度で製品改善を進める行政、この分野に関わる最新テクノロジーの研究者、そして長年傷害予防に力を注いできた小児科医の山中先生をシンポジストに迎え、新たな傷害予防の方向性について議論したいと考えています。



### メディア



赤ちゃんとママ社編集部  
菊池 香織・佐藤 加世子

育児雑誌・冊子制作で見えてきた令和時代のママ・パパ像

### 行政



経済産業省 産業保安・安全グループ 製品安全課  
小川 ゆめ子

誤使用・不注意のせいにしない製品改善の推進に向けて  
(+あんしん表示制度の創設)



進行 西田 佳史  Institute of SCIENCE TOKYO  
東京科学大学  
工学院機械系 教授

### NPO



NPO法人 セーフキッズジャパン  
理事長 大野 美喜子

行動変容の社会化のための  
セーフキッズマイスター

### 技術



産業技術総合研究所  
北村 光司

ヒューマンセンタード  
傷害予防を支える最新技術

### アカデミア



日本小児科学会  
山中 龍宏

傷害予防40年の歩みと  
今後の課題